

武豊町議会議長 石原 壽朗 殿

武豊町議会議員 鳥居 美和

一般質問の通告について

令和3年第4回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. ウィズコロナの住民生活について	<p>昨日12月1日の新型コロナウイルスに感染した方の人数は〇〇人、重症者は〇〇人と発表がありました。</p> <p>感染者が急増した今年の夏の「第5波」では、重症者も増え、9月4日には過去最多の2223人に上り、医療体制が一部で逼迫しましたが、その後は減少に転じることとなりました。感染症の専門家は「重症者数の激減は、ワクチン接種による重症化予防の効果が非常に大きい。2回接種後に感染するブレイクスルー感染でも軽症で済んでいる」と指摘しています。しかし、海外の研究では時間の経過とともに感染予防などの効果が低下すると報告されています。そこで政府は2回完了した全ての希望者に3回目の追加接種を決定し本町においても来年1月より開始されるようです。</p> <p>また、感染者の減少に伴い、イベントの人数制限の緩和・飲食ルールの変更に加えて、年明けにはGOTOトラベルの再開も予定されているところであると認識しております。</p> <p>しかしながら、第6波の懸念も消えることなく、マスクの着用や手指の消毒等最低限の感染対策は必須となっており、新型コロナ感染症の蔓延前のような安全で安心できる暮らしの確保までには、今しばらくの時間がかかるようです。</p> <p>約2年にもおよぶコロナ禍での生活は、マスクの着用をはじめ大きく住民生活に変化を与えました。お祭りや盆踊りをはじめとした地域イベントの中止や密を避けるための会合などの減少により地域コミュニティの減退が心配されたり、高齢者の外出の自粛による健康への影響があるとされております。</p> <p>本町においては、自治区に対して早急な支援を実施していただいておりますが、今後更なる支援で地域コミュニティの活性化を図って行くことが必要であると考えます。</p> <p>また、第6波に備えた体制作りも同時に進めていく必要があります。</p> <p>そこで、今後はウィズコロナの中、どのような生活環境や生活習慣を本町として考えているのか以下5点お伺いいたします。</p>
	<p>【質問事項】</p> <p>① 3回目のワクチン接種の状況はどのようになっていますか。</p> <p>② ワクチンパスポートのようなワクチン接種証明の活用は町としてはどのように考えていますか。</p> <p>③ 安全で安心した生活にとって予防接種記録の推奨が必要と考えますがワクチン手帳導入の考えはありますか。</p> <p>④ コロナ禍により減退した地域コミュニティへの支援をどのように考えていますか。</p> <p>⑤ ウィズコロナの社会において必要な施策は何と考えていますか。</p>